

# 子供の読書活動の推進について

(教育民生常任委員会・所管事務調査報告)

平成29年3月

高松市議会

高松市議会では、毎年度、各常任委員会ごとに、委員会の所管事項のうちからテーマを設定し、閉会中継続調査（所管事務調査）を行っております。

そこで、教育民生常任委員会としては、平成28年度の調査テーマを「子供の読書活動の推進について」に決定し、鋭意、調査検討を重ねた結果、このたび委員会として調査結果を取りまとめたので、以下、その後の動きも含め、報告いたします。

## 1 現状及びテーマ選定の理由について

最近、全国的に子供の読書の重要性がクローズアップされる中、本市では、平成26年3月に未来を担う子供たちの読書活動の指針となる「新高松市子ども読書活動推進計画【改訂版】」が策定され、図書館の充実を初め、家庭や地域・学校等を通じて社会全体での取り組みの推進のほか、学校図書館との連携など、読書活動全般にわたった取り組みが行われておりますが、本計画の最終年度を迎え、次期計画策定を行う、この機を捉え、本委員会として、子供の読書活動の推進が重要であるとの観点から、平成28年6月21日の委員会で所管事務調査テーマに選定した。

## 2 委員会等の開催状況及び活動内容について

### (1) 教育民生常任委員会

#### ① 平成28年8月29日 当局からの現状等の説明・質疑応答

〔当局の説明概要〕

本市図書館では、教育・文化の情報拠点のほか、市民に役立ち地域に貢献する図書館運営を基本方針と定め、ライフステージに応じた多様な学習ニーズに応え

る図書館など、四つの基本目標に基づき各種事業に取り組んでいる。

また、同計画に沿って、子どもの読書まつりの開催やブックスタート事業の実施のほか、小中学校においては、専門的知識や資格を有する学校図書館指導員を配置し、学校図書館の環境整備に取り組むなど、市立図書館とも連携を図りながら、読書活動の充実に努めている。

- ② 平成28年11月21日 現地視察及び視察後の意見交換等
- ③ 平成29年 2月 6日 先進地視察後の委員間討議・質疑応答
- ④ 平成29年 2月17日 取りまとめ内容の確認

## (2) 視 察

平成29年1月18日・19日 先進地視察

・千葉県市川市



・東京都新宿区



### 3 委員会としての提言内容について

〔3月2日の委員長報告（閉会中継続調査終了）〕

#### (1) 市立図書館の取り組み

- ① 学校図書館の機能充実を図るため、学校図書館と市立図書館との連携・協力体制をさらに強化し、学校図書館のサポートに積極的に取り組むこと。また、教育現場において図書を有効活用するため、市立図書館や各学校図書館の蔵書の一元的な検索システムの構築を検討すること。
- ② 幼児期の読み聞かせは、大人になってからの読書活動の推進に重要であることから、既存のブックリストのカラー化を初め、掲載情報の選別など、有効活用に向けた工夫を図ること。また、インターネットなど各種情報提供ツールを活用し、家庭内の読書推進に向けた情報の充実に努めること。

- ③ 学年が上がるにつれ読書離れが進む傾向にある中高生の読書活動を支援するため、ヤングアダルトコーナーの設置や中高生向け講座の開催、また、図書館内での中高生閲覧スペースの提供など、読書活動の推進を図ること。
- ④ 地域の身近な読書施設である図書館分室について、親子で本に親しむことができるよう絵本等資料の整備・充実を図り、地域や家庭で読書に親しむ機会の充実に努めること。

## **(2) 学校図書館の利活用**

- ① 国語の読書時間だけでなく、その他の授業における調べ学習での利用など、より一層の積極的な活用を検討すること。
- ② 照明を明るくしたり丸テーブルを設置するなど、明るい雰囲気や柔らかい印象となるよう快適な空間づくりに努めること。また、図書購入費の予算拡充を図り、学校図書の充実に努めること。
- ③ 学校内での上級生による下級生への読み聞かせなど、児童生徒による主体的な読書活動を検討すること。
- ④ 図書館アドバイザーの新設及び学校図書館におけるボランティアの活用の推進のほか、学校図書館指導員の配置体制の充実や勤務時間の延長等により、利用時間の拡大を検討すること。また、現場の学校図書館指導員等の意見を可能な限り反映させる仕組みを構築し、学校図書館の改善・充実に努めること。

## **4 閉会中継続調査終了報告後の動き**

平成29年3月14日 教育民生常任委員会

新高松市子ども読書活動推進計画【改訂版】の説明を受ける。